

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

【評価シートの見方】

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	性別や立場に関係なく家庭・地域で対等な役割分担がされている	No.51	関係課	生涯学習課
施策名	男女それぞれの個性や能力を生かせる環境をつくる			

市民ニーズに基づいた市のめざすべき姿と、それを実現するための市の施策を記載しています。

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の改善状況を測定するための指標です。

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値		実績値				目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
地域活動への参加経験者の割合(%)	→	41.4	43.0	40.9	43.1	43.6	43.2	47.5
		43.2						54.1
性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見交換ができると思う人の割合(%)	→	27.6	27.6	26.4	32.4	32.1	32.9	34.5
								40.9

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)に影響を及ぼしていると考えられる社会的な兆しや動向、市行政以外の主体の動きや影響についての記述です。

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

若い世代では、男性が家庭へ目を向け家事育児に取り組んだり、女性が就業を継続し、ボランティアなど地域活動を進めたりしている。しかし実際には、年配の世代においてまだ固定的な役割分担意識があることは否めない。特に、町内会などの地域活動では女性役員比率が低いように見受けられる。また、働き盛りの男性にとっては、家庭までは目が向くものの、地域活動まで意識が回らない場合が多い。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	B 停滞	「地域活動への参加経験者の割合」、「性別や立場に関係なく、家庭・地域で自由に意見交換ができると思う人の割合」とともに微増で推移してきた。地域や家庭で性別や立場による役割分担の意識は、世代が高くなるほど根強く、若い世代との乖離が見られるので、今後も世代間意識格差を認識しながら、継続した形で意識改革が必要である。
------	----------------	---

評価がB・Cの場合

まちづくり指標の趨勢及び目標値との乖離状況、外的要因等から、「重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)」に対する改善状況を「A:改善傾向」「B:停滞」「C:悪化傾向」と評価しています。行政活動の評価ではありません。

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
家庭生活において、男女が互いに協力している	地域活動において、男女が互いに協力している		
男性が参加しやすい生活実践講座の開催	男女共同参画意識の啓発事業		
父親の育児参加の促進	男女共同参画推進事業		
子育ての学習機会の提供	各種女性団体指導者養成事業		
男女共同参画に関するイベント等開催	地域における活動団体への支援		
男女共同参画意識の啓発事業	事業所向け男女共同参画出前講座		
男女共同参画推進事業			
事業所向け男女共同参画出前講座			

現状評価が「B:停滞」「C:悪化傾向」となった場合、めざすべき姿の一手手前の状況を長期成果として分解し、また、その長期成果を達成するための事業を掲載しています。

長期成果の設定方法や各長期成果を達成するための事業が有効であるかどうか、また、必要十分であるかどうかなど行政活動に対する評価・点検をします。めざすべき姿は、市民の生活実感に根ざしたところから課題を拾い上げているため、その課題の中には、市の行政活動だけで達成できないものもあります。そういった状況も考慮し、家庭や地域、NPO、民間企業、学校など様々なまちづくりの主体に期待される役割についても記載しています。

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	長期成果は、男女それぞれの個性や能力を活かせる環境を「家庭生活」と「地域活動」に分けており、モレもダブリもない。地域や家庭での性別などによる役割分担意識は、個人個人の価値観や固定的な考え方によるところが大きく、行政の事業活動だけでなくしていくことは難しいのが現実である。今後も継続して意識啓発をしていく必要がある。
次年度の改善計画	【改善】 男女共同参画に関するイベント等開催 新たにイベント等の実施を検討したい。イベント等の充実により意識改革の啓発に努めたい。

***** 公募市民からなる「総合計画推進市民会議」では、毎年度、めざすべき姿に対する改善状況を評価しています。 *

評価	B 停滞	指標1・2はいずれも停滞しており、目標値にも届いていないので全体評価は停滞とする。
----	----------------	---